

第4章

施策

1 施策設定の基本的考え	58
2 施策および具体的取り組み	58

1 施策設定の基本的考え

各施策を構成する具体的取り組みは、今後の観光を取り巻く社会情勢の変化を見ながら、本市を中心に、関係団体・関係機関と調整しつつ、柔軟かつ効果的に実施します。特に、市民参加が可能なものについては、積極的に市民との協働を図ります。

10か年の計画期間において、「前期」はおおむね前期5年以内、「後期」はおおむね後期5年以内、「通期」は計画期間を通して実施します。

なお、5年が経過した段階において中間評価を実施し、進捗状況や方向性などについて見直しを行います。

2 施策および具体的取り組み

以上の考え方に基づき、基本方針とキーワードに関連する詳細な施策および各施策の具体的な取組みを次のように設定します。

○街並み・歴史的建造物の保全・活用の推進

具体的取組み	概要	実施時期
伝統的建造物の保存・活用	歴史的に価値のある伝統的建造物等の保存および活用	通期
都市景観の形成に関する各種助成制度の利用促進	景観形成指定建築物等の保全や都市景観の形成に関する各種助成制度の利用促進	通期

○新たな観光資源の創出

具体的取組み	概要	実施時期
さらなる観光資源の創出と活用	歴史、文化、自然など、埋没している観光資源の掘り起しと活用	通期
既存観光資源等の再整備の推進	既存の観光資源やその周辺など、雰囲気、景観、歴史などを生かし、さらなる魅力向上を図るための再整備の推進	通期
グリーンプラザや市道広小路の整備	駅前通との連続性を考慮しつつ、観光名所・イベント機能も兼ね備えたにぎわい交流空間としての整備	前期
はこだておもしろ館の整備	函館駅前若松地区第一種市街地再開発ビル内に、広く市民や観光客が様々な分野の情報等をバーチャル体験し、交流できる施設を整備	前期
函館駅に隣接した新たな観光施設の整備	函館駅前におけるにぎわい創出のため、菓子の製造過程が見学できる工場や飲食・物販スペース、さらには市民や観光客が自由に集える公園を整備	前期

○アートディレクション(※)機能の充実

具体的取組み	概要	実施時期
函館ロゴマークの活用	ポスター、パンフレット、グッズ、ホームページ、各種事業など、多方面にわたる函館ロゴマークの活用推進	通期
視覚的にわかりやすい案内板・標識の整備	ピクトグラム(※)など、ユニバーサルデザイン(※)に基づいた観光案内板および観光標識の整備	後期
観光情報の総合的な調整	プロモーションに用いる各種宣材のビジュアルイメージを総合的に調整する機能の検討	通期
美しいまちづくりの推進	都市空間の形成に関連する施策を実施する際に、美しいまちづくり検討会委員から意見を聴取し、美しいまちづくりを推進	通期
景観アドバイザーによる景観誘導のための技術的支援	建築物等の新築や屋外広告物の表示の際に助言を行うなど、良好な都市景観の形成を図るための景観アドバイザーによる技術的支援	通期

※アートディレクション: 広告、宣伝、景観づくりなどにおいて、デザイン面での総合的な監修を行うこと。

※ピクトグラム: 何らかの情報や注意を示すために表示される、文字以外のシンプルな視覚記号(サイン)の一つ。

※ユニバーサルデザイン: 年齢や性別、言語、能力、身体状況などの違いに関わらず、様々な人に配慮して、はじめからすべての人が利用しやすいまちや施設、物(製品)、環境、サービス等のデザインをしようとする考え方。

○観光メニューの充実

具体的取組み	概要	実施時期
ニューツーリズムの推進	本市ならではの体験型観光、産業観光、食、学び、癒し、医療、遊び、景観などを生かした、市民も観光客も共に楽しめるニューツーリズムの推進	通期
外国人観光客向けの観光メニューの作成	縄文文化交流センター、アイヌ文化、道の駅、漁村集落、恵山、温泉などの多様な観光資源を活用した、外国人観光客の誘致を目的とした観光メニューの作成	前期
まちあるき観光の充実	既存のまちあるきイベント「てくてくはこだて」を基本とした、まちあるき観光メニューの充実	前期
修学旅行向け体験メニューの充実	体験メニューの提供施設などと連携した、修学旅行向け体験メニューの充実	前期
夜の観光メニューづくり	気軽に飲み歩きができるなど、市民と観光客のふれあいが生まれる観光メニューづくり	通期

○広域連携の推進

具体的取組み	概要	実施時期
広域観光コンテンツの磨き上げ	道南や東北など近隣地域と連携した広域的視点による周遊型観光コンテンツの磨き上げ	前期
広域連携による観光メニューの充実	道南や東北など近隣地域の多種多様な観光メニューを組み合わせた広域観光メニューの充実	通期

○秋冬の魅力の向上や発信

具体的取組み	概要	実施時期
秋冬の魅力の発掘と発信	外部専門家あるいは、道外住民、異なる国や地域の外国人をモニターとした秋冬の魅力の発掘と、雪への憧れや興味の強い東南アジア諸国など、誘致効果の高い国や地域へ向けた情報の発信	前期
秋冬のイベントの見直し	秋冬の一層の観光客誘致や滞在日数の増加を図るため、秋冬に開催される既存イベントの見直し	前期

○魅力ある食・土産品の創造および周知

具体的取組み	概要	実施時期
(仮称)函館観光物産館の整備検討	首都圏において函館の食と観光情報を継続的に発信する拠点整備の検討	前期
函館朝市ひろば(旧渡島ドーム)を中心とした朝市における食の発信	市民と観光客の交流拠点として新たに整備した函館朝市ひろば(旧渡島ドーム)を中心とした朝市における地域産品や魅力ある食の発信	通期
G-site(五稜郭グルメ村)の整備	地域コミュニティ施設と一体となった新たな飲食モールの整備	前期
観光物産展の開催および参加	国内外の誘致・宣伝効果が期待できる市場における観光物産展の開催および参加	通期
食と観光をテーマとしたイベントの開催	地域ならではの食と観光のPRを目的としたイベントの開催	通期
幅広い食の周知	市民に支持されている隠れた飲食店や料理など幅広い食の周知	通期
食・土産品創造の促進	函館ならではの食・土産品創造の促進	通期

○市民主体の歓迎

具体的取組み	概要	実施時期
市民と観光客の交流機会の創出促進	市民活動や各種イベントなどを通じた市民と観光客の交流機会の創出促進	通期
歓送迎イベントの開催	クルーズ客船の寄港時や、北海道新幹線開業時における市民参加による歓迎イベントの開催	通期
道路緑化活動の実施	歓迎ムードを盛り上げることを目的とした、官民一体での沿道の植樹ますの花植えや維持管理の実施	通期
環境美化に関する活動の推進	ボランティア制度を活用した簡易清掃や貼り紙の除去など、きれいな街並みの維持に関する活動の推進	通期

○ホスピタリティ意識の醸成および顕在化

具体的取組み	概要	実施時期
接遇研修等の充実	観光関連従事者を対象とした、時代のニーズに対応した接遇研修等の充実をはじめ、国・地域別の外国人旅行者ニーズに対応した各種研修等の充実	通期
国際交流の支援	国際交流関係事業への支援や小学生などを対象とした国際理解教育の推進	前期
まちあるき休憩ベンチの設置	まちあるき観光の利便性向上のほか、市民と観光客のふれあいの場となる「まちあるき休憩ベンチ」の設置	前期
だれでも利用できる施設への改善	観光関連施設を対象とした段差の解消、スロープや手すりの設置、点字表記などの促進	通期
市民および観光事業者の意識啓発	講演会や市の広報紙などを通じた市民および観光事業者へのホスピタリティ意識向上の取り組み	通期
観光客の安全・安心を守る体制の整備	災害等の非常時に、国内外の観光客の安全・安心を確保するための関係機関との協力体制および必要な方策の確立	前期

○人材の育成

具体的取組み	概要	実施時期
観光ボランティア団体の活動促進	新たなボランティアとの連携、観光ボランティア団体への助成、研修支援などによるボランティア活動の促進	通期
「函館歴史文化観光検定」の普及・検定合格者の活躍促進	多様な媒体を通じた「函館歴史文化観光検定」(はこだて検定)の普及および検定合格者の観光関連事業への参画、活躍の場の提供	通期
有償観光ガイドの育成	観光客の満足度をより一層高めるため、各種ガイドのプロ化実現を目指した有償観光ガイドの育成	後期
通訳ガイドの育成	外国人観光客へのきめ細やかな対応が可能な通訳ガイドの育成	前期

○市内における観光情報の充実

具体的取組み	概要	実施時期
多言語表記・対応の充実	観光情報の多言語表記や、函館市公式観光情報サイト「はこぶら」内の外国語サイトの充実、観光案内所における多言語、多文化への対応	前期
カード利用可能情報の提供	国内外で発行されている電子マネーやクレジットカードが利用可能な施設やATM情報などの提供	前期
テーマ別観光情報の発信	秋冬観光、滞在観光、国・地域別、観光客、ビジネス客、富裕層、高齢世代などテーマ別の観光情報発信の充実	通期
Wi-Fiの推進	交通拠点、観光施設、商業施設などのWi-Fi利用環境の整備と利用可能箇所の情報提供	前期
観光情報の提供場所の拡大	観光情報を入手できる場所の拡大	前期
(仮称)観光センターの整備検討	函館観光のワンストップサービス機能を持った拠点施設の整備について検討	前期
函館市まちかど観光案内所の充実	函館市まちかど観光案内所の周知と機能の拡大	前期
バス、路面電車における観光情報の提供	バス・路面電車の停留所における観光情報の発信および車内でのアナウンスを通じた観光情報の提供	前期

○多様な媒体を通じた情報の発信

具体的取り組み	概要	実施時期
電子媒体を通じた情報発信	「はこぶら」スマートフォン用サイトや「観光等案内情報端末」の運用など電子媒体による情報発信の充実	前期
紙媒体を通じた情報発信	新聞、雑誌など紙媒体への情報発信の充実	通期
放送媒体を通じた情報発信	テレビ、ラジオなど放送媒体への情報発信の充実	通期
宿泊施設を通じた情報発信	滞在客や再来訪客などタイプ別観光客のニーズを想定した宿泊施設による情報発信の充実	通期

○交通アクセス環境の整備

具体的取り組み	概要	実施時期
高速交通ネットワークの整備促進	新函館駅(仮称)および函館空港にアクセスする函館新外環状道路など高速交通ネットワークの整備促進	前期
駐車場情報の提供	自家用車やレンタカー利用者に対する駐車場情報の提供	前期
バスの利便性の向上	バス路線網の再編や停留所上屋の整備および利用しやすい料金体系の導入検討	前期
路面電車の利便性の向上	ICカード導入や均一料金制導入の検討のほか、デザイン性が高く利用しやすい電停の整備	通期
タクシーの利便性の向上	乗り合いタクシーや定額タクシーなど、観光客にとって利用しやすい運行形態および料金の検討	通期

○空港・港湾機能の充実

具体的取り組み	概要	実施時期
国際航空路線の拡充促進	新規路線の開設促進やチャーター便の運航拡大、新たな航空会社の参入促進など国際航空路線の拡充促進	通期
国内航空路線の拡充促進	新規路線の開設促進、既存路線の充実、休止路線の再開促進、新たな航空会社の参入促進など国内航空路線の拡充促進	通期
大型旅客船ふ頭の整備推進	観光客と市民の交流拠点、賑わいと魅力ある港湾空間となるような大型旅客船ふ頭の整備促進(若松地区)	後期
親水空間の整備推進	港や海に接することができる港湾空間の整備および歴史的港湾施設の保存修復(末広地区の整備検討)	後期
旧函館ドック跡地の整備推進	市民や観光客が「海」と「科学」にふれ合うことができる、水産海洋分野の新しい形の研究施設の整備推進	前期

○周遊性の向上

具体的取り組み	概要	実施時期
周遊チケット等の充実	はこだてチケットやはこだて旅するパスポートなど、周遊チケットの充実と継続的販売	通期
周遊促進イベントの実施	渡島東部の隠れた魅力を巡るスタンプラリーの実施など、周遊促進イベントの実施	後期
移動支援手段の充実	電動アシスト付き自転車レンタルサービスの充実や超小型電気自動車などの新たな移動支援手段導入の検討	前期

○MICE受け入れの強化

具体的取組み	概要	実施時期
新たなMICE受け入れ施設の整備	函館アリーナや函館フットボールパークなど、スポーツイベント、コンベンション、会議等に対応できる新たな施設の整備・活用	前期
割引パスポートの充実	MICE参加者が受けられる割引対象施設の拡大や割引内容の向上など、割引パスポートの充実	前期
MICE対応窓口機能の強化	MICE主催者からの各種要望に対応できる窓口機能の充実	前期
エクスカーション(※)の充実	縄文文化や豊かな自然景観に恵まれた渡島東部4地域などを巡るエクスカーションコースの創出	前期
宿泊施設による受け入れ体制の強化	MICE主催者および参加者特有の様々な個別ニーズに対応できる受け入れ体制の強化促進	通期
ユニークベニュー(※)の活用	函館山ロープウェイ展望台や旧函館区公会堂など、函館ならではの特別な場所・施設を活用したMICEの開催促進	後期

※エクスカーション：体験型の見学会などを含む小旅行。コンベンション等の開催において、その前後に実施されることが多い。

※ユニークベニュー：歴史的建造物、文化施設や公的空間で、会議・レセプションを開催することで、特別感や地域特性を演出できる会場。

○祝祭都市に向けた取組み

具体的取組み	概要	実施時期
各種イベントの観光資源化	はこだて国際民俗芸術祭、函館野外劇、はこだて国際科学祭、バル街のほか各種周年事業など、函館でしか味わえない、または函館発祥のイベントの宣伝を強化	通期
各種イベントの支援	各種イベントに対する支援の実施	通期

○誘致宣伝活動の実施

具体的取組み	概要	実施時期
国内外での誘致宣伝活動の実施	北海道新幹線開業により今後集客が期待できる首都圏・北関東・東北のほか、東南アジア地域を中心とした海外での誘致宣伝活動の実施	通期
MICEの誘致宣伝活動の実施	MICE開催予定の企業・団体への個別誘致をはじめとした積極的な誘致宣伝活動の実施	通期
修学旅行の誘致宣伝活動の実施	市内宿泊施設、教育・文化施設、体験施設などとの連携および近隣地域との広域連携を生かした修学旅行の誘致宣伝活動の実施	通期
寄港および就航要請活動の実施	クルーズ客船運航会社に対する寄港要請や新規航空会社等に対する就航要請活動の実施	通期
「はこだてフィルムコミッション」の活用	「はこだてフィルムコミッション」のおすすめロケ地などの一層の充実や、過去に撮影された映画の活用	通期

○長期戦略形成へ向けた取り組み

具体的取り組み	概要	実施時期
観光アンケート調査の実施	観光アンケート調査の継続実施	通期
外国人旅行者ニーズ調査の実施	外国人旅行者の国・地域別の魅力ある観光資源の把握やニーズの顕在化、“売り”の分析	通期
観光客満足度調査の実施	観光客の満足した点、不満だった点に関する調査を実施	通期
その他関連調査実施の検討	観光動向の把握に必要と思われる各種関連調査の新規実施の検討	通期
観光アドバイザー会議の設置	有識者、観光関連事業者等で構成される観光アドバイザー会議による進捗状況の管理	通期